

修士論文および卒業論文の手引き

神戸大学大学院システム情報学研究科
神戸大学工学部情報知能工学科
2023年12月改訂

- 提出要領
- 修士論文アブストラクト(提出は不要)
- 使用言語
- 用紙と形式
- 論文の構成
- 卒業論文・修士論文の最終提出について
- 論文表紙・中表紙作成見本

提出要領

・提出締切

修士論文: 2024年2月6日(火)16:00

卒業論文: 2024年2月13日(火)16:00

・提出方法と提出部数

修士論文: 次の要領で提出せよ(項目1、2を必ず両方行うこと)

1. 主査・副査に各1部(電子ファイルまたはフォルダーに綴じた印刷物)を直接提出※
※提出方法と形式:各自、事前に主査・副査に連絡をとり、その指示に従うこと.
2. 所属研究科のBEEF+ Ventureコースから論文PDFファイルをアップロード.

卒業論文: 所属する研究室の研究科のBEEF+ Ventureコースから論文PDFファイルをアップロード.

・提出先となるBEEF+ Ventureコースおよび論文ファイルアップロード時の注意事項について

1. 接続URL:「<https://ventureplus.center.kobe-u.ac.jp>」
(BEEF+ VentureはBEEFと同じIDとパスワードでログインできる.)
2. 提出先のBEEFコース・課題名称(卒業論文も提出先は「研究科」のコースとなる)
 - 修士論文⇒【M2】2023年度修士論文PDF提出
 - 卒業論文⇒【B4】2023年度卒業論文PDF提出万が一、自身の所属専攻のBEEFコースが見えない場合(異なる専攻のコースが見えている場合も含む)は、すぐに教学委員 csi-kyogaku-local@edu.kobe-u.ac.jp に連絡すること.
3. ファイル形式はPDFのみ受け付ける.

4. ファイル名は「学籍番号+氏名.pdf」(例: 修士論文の場合は 200X000 神戸太郎.pdf, 卒業論文の場合は 1800000T 情知花子.pdf)とすること.
5. 論文表紙の表記は, 事前に申請・登録した「論文題目」, 「主査・副査」(卒業論文の場合は「指導教員」)と相違が無いよう, 十分に注意すること(題目は一字一句異なってはならないため, 特に注意が必要である).
6. BEEF にアップロードできるファイルサイズの上限は 10 MB である. PDF ファイルがこのサイズを超える場合は, 各自オンライン上の PDF 圧縮サービスを使用するなどして, ファイルサイズを小さくすることを試みる. それでもやむを得ず 10 MB を越える場合は, 教学委員 csi-kyogaku-local@edu.kobe-u.ac.jp に連絡すること.

・主査・副査に「印刷体の修士論文」の提出を指示された場合は下記に従うこと

- ・システム情報学研究科指定のフォルダー(GOOP の EG FILE, GE-4K またはそれと同型のもの. 同一研究室は同じ色のフォルダーを使用すること)に綴じること.
- ・フォルダーの表紙の面には, 上述の表紙を印刷した A4 用紙を貼りつける.
- ・背表紙には, 和文の場合, 「2023 年度修士(卒業)論文」, 題目, 氏名を縦書きで記した紙を貼りつけること. 英文の場合, 「Master's (Bachelor's) Thesis」, 英文題目, 英文氏名を記した紙を貼りつけること.

修士論文アブストラクト

アブストラクト提出は不要とする.

使用言語

工学部情報知能工学科の卒業論文, システム情報学研究科各専攻の修士論文においては, その本文を日本語(和文)または英語で執筆しなければならない.

用紙と形式

修士論文・卒業論文の使用用紙は A4 用紙とする.

卒業論文は表紙を除いて全体で A4 用紙 40 枚以内とする. 修士論文には枚数の制限はない.

使用用紙は各自で用意すること.

和文の場合, 1 ページ 30~35 行, 1 行 35~40 字程度(手書きの場合は 1 行の文字数はこれより少なくてもよい), 英文の場合はダブルスペースとする.

論文の構成

論文の構成は以下の形式に従うこと.

1. 表紙, 中表紙(末尾に見本を示す)

和文の表紙は、「2023 年度修士(卒業)論文」、題目、神戸大学大学院システム情報学研究科、XXX 専攻(神戸大学工学部、情報知能工学科)、氏名、指導教員、審査教員(修士論文のみ)、提出年月日(西暦)の順に書くこと(専攻名などは下表参照。)

英文の場合には、「Master's (Bachelor's) Thesis」、英文題目、英文氏名、英文専攻名、英文研究科名(英文学科名)、Kobe University、英文指導教員、英文審査教員(修士論文のみ)、英文提出年月日の順に書くこと(専攻名などは下表参照。)

中表紙も同じ書式で作成し、上半身の名刺判の写真を中表紙の裏左下に添付すること。

和文	英文
大学院システム情報学研究科	Graduate School of System Informatics
システム科学専攻	Department of Systems Science
情報科学専攻	Department of Information Science
計算科学専攻	Department of Computational Science
工学部	Faculty of Engineering
情報知能工学科	Department of Computer and Systems Engineering

2. 英文要旨(修士論文では和文・英文執筆ともに必要、卒業論文では英文執筆の場合のみ必要)

英文要旨は、「英文題目」、「英文氏名」のあとに、見出しとして Abstract と書き、要旨を 500 語程度で記述する。

研究の目的、実験や考察などの内容、主要な結論・成果を簡単かつ明瞭にのべること。これだけで論文の概要が理解できることが必要である。

3. 和文要旨(修士論文・卒業論文ともに和文執筆の場合のみ必要)

和文要旨は、「和文題目」、「和文氏名」のあとに、見出しとして「要旨」と書き、要旨を 800 字程度で記述する。

研究の目的、実験や考察などの内容、主要な結論・成果を簡単かつ明瞭にのべること。これだけで論文の概要が理解できることが必要である。

4. 目次

目次は、本文に現われる章や節や、節の細分であるサブセクションのタイトルと、それらが始まるページ番号を記述すること。

「謝辞」、「参考文献」、「付録」などは本文に含まれないが、このような項目に付いてもページ番号を付けて目次に記しておくこと。

5. 本文

本文は、必ず、「緒論」・「緒言」・「序論」・「Introduction」などの章から始め、「結論」・「結言」・「まとめ」・「Conclusion」などの章で完結すること。

専門を同じくする者を読者と想定して論文の形式でまとめること。

なお、論文中に現われる専門的な用語や概念については、本文を読むだけで理解できるように説

明を適宜付し、自己完結的な形で記述すること。

本文の各ページにはページ番号を付すこと。

図表はすべて*英文*で作成し、必ず Fig. 1, Fig. 1 (a), Fig. 1.1, Table 1 などの図表番号とキャプションを入れること。図表のキャプションも*英文*で記述すること。

プログラムやフローチャートは必要な場合のみ、図として作成する。図表、写真、プログラム、フローチャートなどを補足的に付す場合には、後述の「付録」としてあつかうこと。

6. 謝辞

研究を行なうにあたり指導・支持・討論・批判などを受けた人・組織に対する謝辞を簡潔に述べる。

7. 参考文献

研究を行なうにあたり引用した文献には、文献番号(通し番号や [Codd 1991] など)を付け、本文の最後にまとめて書く。書式は次の通りとする。

・論文

著者名, ``論文題目,`` 雑誌または論文集名 (英文の場合は斜体にする), Vol. x, No. xx, pp. xxx-xxx (1995)

例

H. Morita, ``Instruction for master thesis,`` *Journal of Computer and Systems Engineering*, Vol. x, No. x, pp. 123-129 (1995)

・書物

著者名, ``書名,`` 出版社名 (出版年), pp. 123-129.

例

森田 浩, ``修士論文の書き方,`` 凸凹出版 (1995), pp. 123-129.

8. 付録

本文を簡潔な表現に保つために、本文から離れる事項は付録という形で記述する。例えば、(a) 式の誘導や定理の証明など、(b) 生の実験データや数値表など、(c) 実験方法や装置の補足説明など、(d) プログラムのソースリストや実行結果、(e) 本研究に関連して発表した文献など。

卒業論文・修士論文の最終提出について

卒業論文・修士論文は発表会・公聴会終了後、審査委員会や発表会・公聴会におけるコメントを反映した最終版を提出する必要があります。卒業論文・修士論文の最終版は、電子版を研究科で保存します。下記の要領で電子版を作成し、期限までに提出して下さい。なお、研究科での保存期間は5年間です。それ以降に必要な場合に備え、各自で電子ファイルのバックアップを保存しておいてください。

ファイル形式: 卒業論文・修士論文毎に、表紙を含め全体を1本のPDF ファイルとしてください。また、フォントは埋め込んで下さい。ただし、ソフトによるPDF化が困難な場合は、スキャンしたもので構いません。ファイルサイズが大きすぎる場合にはサイズの縮小をお願いすることがあります。

ファイル名: 全て半角の、大文字英字・数字・ハイフンで、卒業論文の場合には

B【西暦の年度】-【教育研究分野の記号(下記)】-【学籍番号】

修士論文の場合には

M【西暦の年度】-【教育研究分野の記号(下記)】-【学籍番号】

としてください。

例: 2023 (R5) 年度システム計測学籍番号 123Y456Z の修士論文の場合: M2023-S03-123Y456Z.pdf

提出方法: 卒業論文・修士論文の提出時と同様に BEEF+ Venture から提出してください。

- 修士論文⇒(最終版提出)【M2】2023 年度修士論文 PDF 提出
- 卒業論文⇒(最終版提出)【B4】2023 年度卒業論文 PDF 提出

アップロードできるファイルサイズの上限は40MBである。PDFファイルがこのサイズを超える場合は、各自オンライン上のPDF圧縮サービスを利用するなどして、ファイルサイズの縮小を試みること。それでもやむを得ず40MBを超える場合は、教学委員 (csi-kyogaku-local@edu.kobe-u.ac.jp) に連絡すること。

提出期限: 2024年2月27日(火)17時

＜教育研究分野の記号＞

システム科学専攻		情報科学専攻		計算科学	
システム計画	S01	情報数理	I01	計算基盤	C01
		アーキテクチャ	I02	計算知能	C02
システム計測	S03	ソフトウェア	I03	計算流体	C03
システム制御	S04	情報システム	I04	シミュレーション 技法	C04
システム数理	S05	知的データ	I05	計算分子工学	C05
システム構造	S06	メディア情報	I06	計算生物学	C06
システム知能	S07	創発計算	I07		
応用システム	S08	感性アートメディア	I08	計算宇宙科学	C08
情報セキュリティ運 用論	S09	情報通信	I09		
		知能統合	I10	応用計算科学	C10
				大規模計算科学	C11

論文表紙・中表紙作成見本: 次のページ以下

2023 年度 修士論文

○○○○○題目○○○○○

神戸大学大学院システム情報学研究科
○○○○科学専攻

○○氏名○○

指導教員

審査教員 主査

副査

副査

2024 年 2 月 6 日

Master's Thesis

○○○○○○ Title ○○○○○○

○○ Name ○○

Department of ○○○○ Science
Graduate School of System Informatics
Kobe University

Supervisor:

Primary Examiner:

Examiner:

February 6th, 2024

2023 年度
卒業論文

○○○○○題目○○○○○

神戸大学工学部情報知能工学科

○○氏名○○

指導教員

2024 年 2 月 13 日

Bachelor's Thesis

○○○○○○ Title ○○○○○○

○○ Name ○○

Department of Computer and
Systems Engineering
Kobe University

Supervisor:

February 13th, 2024